

子ども医療費助成制度改正のお知らせ

平成30年8月1日から『子ども医療費受給者資格証』が北海道全域で使えるようになります！

これまでは、「子ども医療費受給者資格証」は町内医療機関（幌延町立診療所・トナカイ調剤薬局・幌延町立歯科診療所）に限りお使いいただけでしたが、平成30年8月1日から、道内全ての医療機関で使用可能になります。また、現在皆さまがお持ちの「子ども医療費受給者資格証」の有効期限は平成30年7月31日となっています。新しい受給者証については、7月中旬に交付を予定しています。

	平成30年7月31日まで	平成30年8月1日から
使える地域	幌延町内のみ	北海道全域
補助割合	10割（保険適用分のみ）	変更なし

※従来の町外診療分医療費の役場窓口への申請による現金払いについて、8月以降も7月診療以前の領収書をお持ちいただき申請することで受給することができます。なお、申請することができる期限は領収日から2年間ですので、ご注意ください。

お問い合わせ先：住民生活課 税務保険グループ 電話：5-1115 告知端末機：5-8812

診療所だより

診療所長：田川 豊秋



腹 痛

先月は頭痛について書きました。そろそろネタも尽きたので今回は腹痛です。次回は何痛にしようかな？

腹痛に限らず痛みが生じるのは、何らかの神経刺激が脳にもたらされた結果です。その伝達路にはさまざまな神経が関与します。その神経の違いによって腹痛は体性痛と内臓痛とに区別されます。体性痛は、鋭く差し込むような痛みで、痛みの部位が明確です。内臓痛は漠然とした鈍痛が特徴で、部位も大まかで悪心等を伴うこともあります。この二種の痛みが組み合わさって腹痛は出現するので、発症時刻や誘因の有無など丁寧な問診がまず大事になります。

特に消化器系の疾患が原因となることが多いので、何時に何を食べたかをお伺いします。もちろん採血検査や超音波検査・CT等の画像診断も重要ですが、腹痛は問診と腹部の理学的所見（触診や聴診）である程度原因疾患を絞り込むことができます。胃腸や肝・胆・膵臓疾患による腹痛は緊急性を要しないものが多いのですが、他の部位の疼痛と同様に血管病変による腹痛（大動脈解離・腸間膜動脈閉塞症など）は生命に関わる可能性が高いです。

食事と関係せず突然の強い痛みを感じたときには、躊躇せずに受診してください。女性の場合は婦人科疾患も腹痛を引き起こします。特に妊娠に伴う腹痛は急を要する場合がありますので、そんな覚えがなくても？妊娠の有無を確認させていただくことがあります。その他にも泌尿器系や神経性のものなど腹痛をきたす疾患はさまざまです。諸検査では特に異常を認めないのに腹痛や腹満感・便秘異常などが続く、機能性ディスペプシアや過敏性腸症候群などの新しい概念もあります。「飲みすぎや食べすぎでお腹が痛くなった」との自己判断に頼りすぎないでくださいね。

看護師等が振り込め詐欺対策講習会を受講しました

5月16日に、町立診療所の看護師等が、北海道警察天塩警察署の職員による「振り込め詐欺対策講習会」を受講しました。日々変化している振り込め詐欺について、どのような手口で電話がかかってくるのかを実演で体験したり、凶器を持った不審者に対する対処法等を学んだりしました。

今後、振り込め詐欺被害に遭わないための啓発活動として、看護師等が外来受診時等にお話しすることがありますので、不安なことがあればお気軽にお声かけください。

